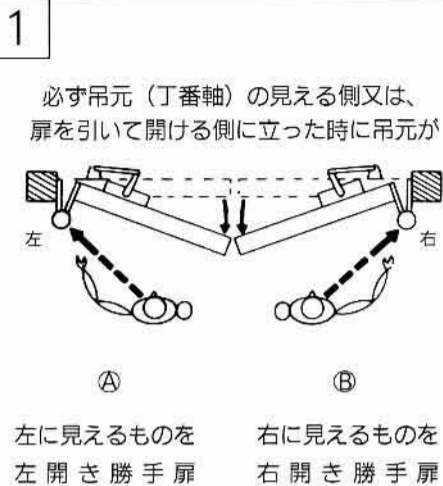


M801P(S)K	M811P(S)K	M801P(S)AK	M811P(S)AK
M802P(S)K	M812P(S)K	M802P(S)AK	M812P(S)AK
M803P(S)K	M813P(S)K	M803P(S)AK	M813P(S)AK

説明書は、右開き勝手扉について図示してありますので、左開き勝手扉の場合は、本図と左右対称の位置となるように取付けて下さい。



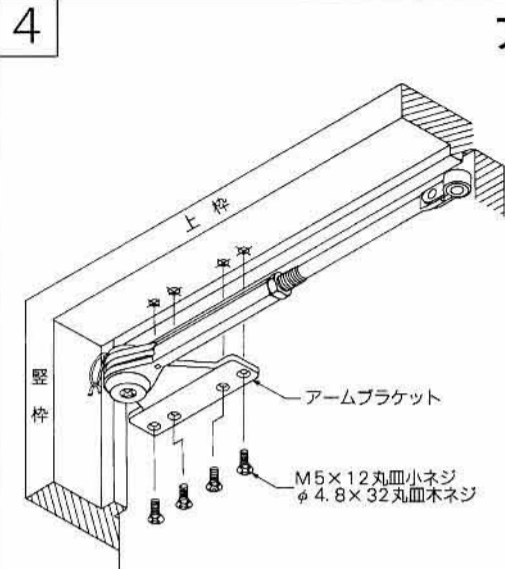
扉の開き勝手

- 本体及び付属部品には、左右の勝手がありませんが、扉の開き勝手によって、取付ける向きが異なります。
- 左図の開き勝手区分①又は②によって、正しい向きに取付けて下さい。
 - 中心吊元では左図の開き方向に合わせて下さい。

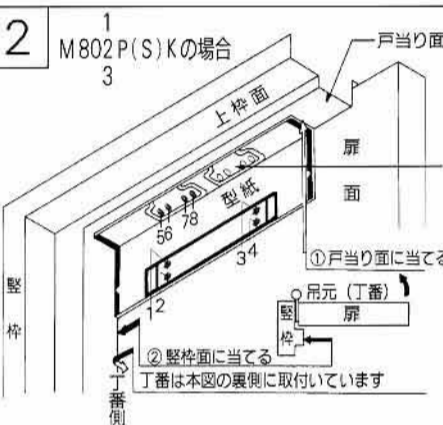
扉のどちら側に取付けるか

- クローザ本体は、左図の如く丁番の反対側に取付けて下さい。

注意事項 平行取付型と標準取付型とはドアクローザ本体が異なりますのでご注意ください。

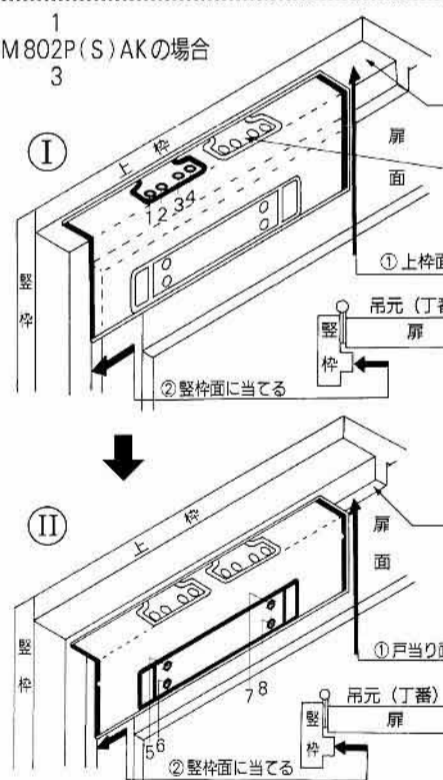


注 取付ネジは、強く締付けて下さい。緩いとアームがぐらつき正常な機能を果たさなくなります。



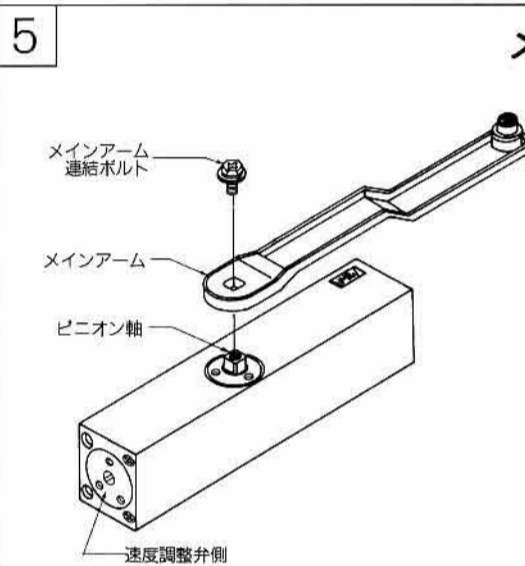
取付位置の決め方

- 添付の取付用型紙を左図のように扉面および戸当り面にぴったり当てて、取付穴の位置を決めて下さい。（ネジ穴数は8カ所です。）
- その時、型紙の端を縦枠面にぴったり当てて、穴位置を決めて下さい。



- 添付の取付用型紙を左図①のように上枠面と縦枠面にぴったり当てて、アームブラケットの取付穴の位置を決めて下さい。（ネジ穴数は4カ所です。）

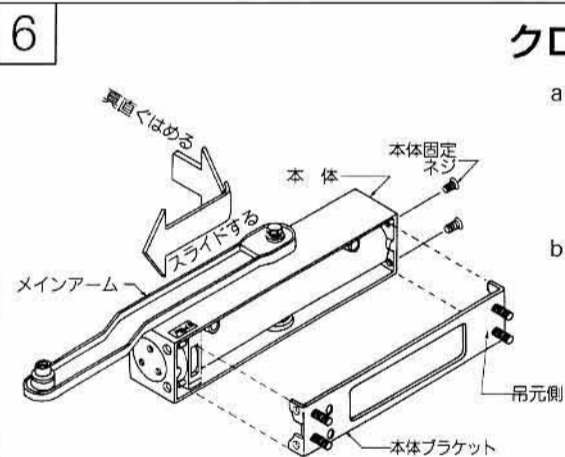
- 次に、左図②のように、戸当り面と縦枠面にぴったり当てて、本体ブラケットの取付穴の位置を決めて下さい。（ネジ穴数は4カ所です。）



メインアームの取付

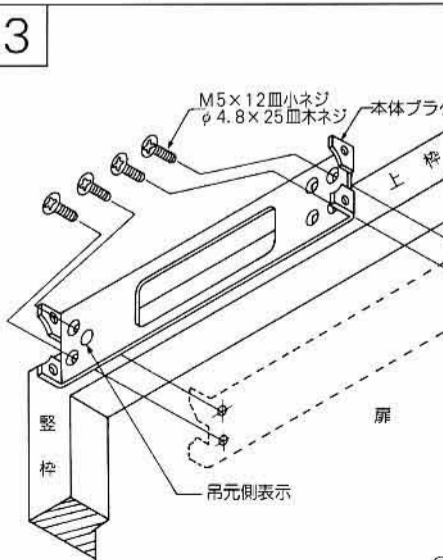
- 本体の向きは速度調整弁を吊元側に向けて下さい。
- メインアームは必ず吊元の反対側に伸びる様に取付けて下さい。
- メインアームをピニオン軸にメインアーム連結ボルトにてしっかり締付けて下さい。

注 メインアームがピニオン軸に入りにくいときは、ピニオン軸にメインアームの角穴をあてがい、連結ボルトにてねじ込んで下さい。ハンマー等でメインアームをたたいて入れるとピニオン軸受部を破損し、油もれを起こし正常に機能しなくなります。



クローザ本体の取付

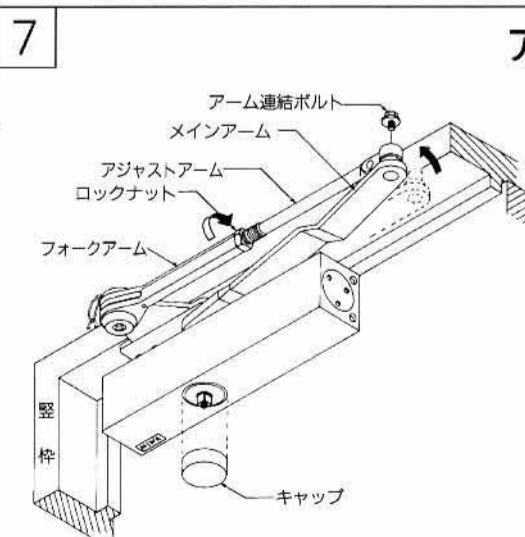
- 本体を本体ブラケットにはめ合わせて、本体を吊元の反対側に向かって扉面にそってスライドして下さい。
- 本体固定ネジ（2本）にて本体を本体ブラケットに固定して下さい。
 - 左図は本体の裏面から見ておりますので向きにご注意下さい。



本体ブラケットの取付

- 本体ブラケットの○印を吊元側に向けて扉面に取付ネジ（4本）にて取付けて下さい。

注 取付ネジは、強く締付けて下さい。緩いと本体がぐらつき正常な機能を果たさなくなります。



アームの連結

- アジャストアームの先端の穴にメインアーム先端のピンをはめ合わせ連結して下さい。その時、フォークアームは扉面又は上枠と平行になるようにロックナットを緩めアジャストアームをねじり長さを調節して下さい。
- 長さを調節後ロックナットを充分締付けて下さい。
- アーム連結ボルトをしっかりと締付けて下さい。
- キャップは下からパチッとはめて下さい。

◎ 平行取付の時 ○印を必ず吊元側に向けて取付けて下さい。

ストップ角度の決め方 及び 速度調整の方法は裏面をご覧ください。